



THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

Applicant: A. Ishida et al. Attorney Docket No. FUJO116714
Application No.: 09/735,222 Group Art Unit: 2152
Filed: December 11, 2000 Examiner:
Title: SYSTEM FOR INTERNET CONNECTIONS, SYSTEM FOR PROVIDING
INTERNET USER INFORMATION, METHOD FOR PROVIDING
INTERNET USER PREFERENCE INFORMATION, AND METHOD FOR
DISTRIBUTING DIGITAL CONTENTS USING THE INTERNET

LETTER TRANSMITTING PRIORITY DOCUMENTS

TO THE COMMISSIONER FOR PATENTS:

Enclosed is a certified copy of the following applications for which a claim of priority under 35 U.S.C. § 119 has been made:

<u>Country</u>	<u>Application No.</u>	<u>Filed</u>	<u>Title</u>
Japan	2000-099362	March 31, 2000	Japanese Language Title
Japan	2000-182692	June 19, 2000	Japanese Language Title

Respectfully submitted,

CHRISTENSEN O'CONNOR
JOHNSON KINDNESS^{PLLC}

Jeffrey M. Sakoi
Registration No. 32,059
Direct Dial No. 206.695.1713

I hereby certify that this correspondence is being deposited with the U.S. Postal Service in a sealed envelope as first class mail with postage thereon fully prepaid and addressed to the Commissioner for Patents, Washington, D.C. 20231, on the below date.

Date:

April 4, 2001

JMS:pt

LAW OFFICES OF

CHRISTENSEN O'CONNOR JOHNSON KINDNESS^{PLLC}
1420 Fifth Avenue
Suite 2800
Seattle, Washington 98101
206.682.8100



CERTIFIED COPY OF
PRIORITY DOCUMENT

日 本 国 特 許 庁
PATENT OFFICE
JAPANESE GOVERNMENT

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されて
いる事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed
with this Office.

出 願 年 月 日

Date of Application:

2000年 3月31日

出 願 番 号

Application Number:

特願2000-099362

願

人

Applicant (s):

株式会社フリービット・ドットコム

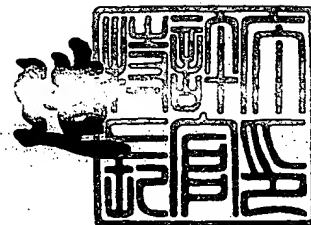
2000年 9月22日

特許庁長官

Patent Office



新 川 公 司



出証番号 出証特2000-3068965

【書類名】 特許願

【整理番号】 00A036

【あて先】 特許庁長官 殿

【国際特許分類】 G06F 13/00

【発明者】

 【住所又は居所】 東京都港区赤坂二丁目 2 1 番 1 号 株式会社フリービット・ドットコム内

 【氏名】 石田 宏樹

【発明者】

 【住所又は居所】 東京都港区赤坂二丁目 2 1 番 1 号 株式会社フリービット・ドットコム内

 【氏名】 草野 ▲隆▼史

【特許出願人】

 【住所又は居所】 東京都港区赤坂二丁目 2 1 番 1 号

 【氏名又は名称】 株式会社フリービット・ドットコム

 【代表者】 石田 宏樹

【代理人】

 【識別番号】 100104215

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 大森 純一

【選任した代理人】

 【識別番号】 100104411

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 矢口 太郎

【手数料の表示】

 【予納台帳番号】 069085

 【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

 【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 インターネット接続システム、インターネット利用者情報提供システム、インターネット利用者の嗜好情報提供方法、及びインターネットを利用したデジタルコンテンツの配信方法

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 利用者の端末をネットワークに接続するインターネット接続システムであって、

前記 IP アドレスの使用情報を、この IP アドレスの利用者に関連付けて格納する IP アドレス使用情報格納手段と、

前記利用者が Web サイトに接続する際に、接続に係る IP アドレスによる当該 Web サイトへの接続ログを記録する接続ログ記録手段と、

接続ログ記録手段によって記録されたログ情報に含まれる IP アドレスと、前記 IP アドレス使用情報とを参照することで、接続先 Web サイトとこの Web サイトに接続した前記利用者の情報とを関連付けて出力する接続先情報出力手段と

を有することを特徴とするインターネット接続システム。

【請求項 2】 請求項 1 記載のインターネット接続システムにおいて、

前記接続ログ記録手段は、利用者の端末をインターネットに接続する際に経由させる代理サーバに設けられている

ことを特徴とするインターネット接続システム。

【請求項 3】 請求項 1 記載のインターネット接続システムにおいて、

利用者による前記接続先情報の出力の許可／不許可を識別するための情報を格納する情報出力許可／不許可情報格納手段をさらに有し、

前記接続先情報出力手段は、前記利用者が接続先情報の出力を許可していることに基づいて当該接続先情報を出力するものである

ことを特徴とするインターネット接続システム。

【請求項 4】 請求項 3 記載のインターネット接続システムにおいて、

接続先情報の出力を許可している利用者の集合情報を、前記接続先情報と共に提供する集合情報出力手段をさらに有する

ことを特徴とするインターネット接続システム。

【請求項 5】 請求項 1 記載のインターネット接続システムにおいて、
利用者の認証を行う認証手段を有し、

前記 I P アドレス使用情報格納手段は、この認証手段によって取得された利用者情報と I P アドレス使用情報とを関連付けて格納するものである

ことを特徴とするインターネット接続システム。

【請求項 6】 請求項 1 記載のインターネット接続システムにおいて、
各種 W e b サイトの情報をカテゴライズして格納するカテゴライズ情報格納手段と、

前記接続先情報出力手段から受け取った前記接続先情報と、前記カテゴライズ情報とを参照することで、接続先 W e b サイトのカテゴリとこの W e b サイトに接続した前記利用者の情報とを関連付けて出力する利用カテゴリー情報出力手段と

を有することを特徴とするインターネット接続システム。

【請求項 7】 請求項 6 記載のインターネット接続システムにおいて、
当該利用者の前記利用カテゴリー情報を集積することで、当該利用者の嗜好を分析する嗜好分析手段と、

当該嗜好情報を前記利用者に関連付けて出力する嗜好情報出力手段と
を有することを特徴とするインターネット接続システム。

【請求項 8】 請求項 7 記載のインターネット接続システムにおいて、
各種コンテンツを前記カテゴリーに関連付けて格納するコンテンツ格納手段と
、
前記利用者の嗜好情報に基いて、前記コンテンツ格納手段からコンテンツを取り出して前記利用者に配信するコンテンツ配信手段と

を有することを特徴とするインターネット接続システム。

【請求項 9】 利用者の情報と、当該利用者の接続先 W e b サイト情報とを関連付けて格納する接続先情報格納手段と、

各種 W e b サイトの情報をカテゴライズして格納するカテゴライズ情報格納手段と、

前記接続先情報と、前記カテゴライズ情報とを参照することで、接続先WebサイトのカテゴリとこのWebサイトに接続した前記利用者の情報とを関連付けて出力する利用カテゴリー情報出力手段と

を有することを特徴とするインターネット利用者情報提供システム。

【請求項10】 請求項9記載の情報提供システムにおいて、

当該利用者の前記利用カテゴリー情報を集積することで、当該利用者の嗜好を分析する嗜好分析手段と、

当該嗜好情報を前記利用者に関連付けて出力する嗜好情報出力手段と

を有することを特徴とする情報提供システム。

【請求項11】 請求項10記載の情報提供システムにおいて、

各種コンテンツを前記カテゴリーに関連付けて格納するコンテンツ格納手段と

前記利用者の嗜好情報に基いて、前記コンテンツ格納手段からコンテンツを取り出して前記利用者へ配信するコンテンツ配信手段と

を有することを特徴とする情報提供システム。

【請求項12】 利用者の端末をネットワークに接続するインターネット接続システムであって、

IPアドレスの使用情報を、このIPアドレスの利用者に関連付けて格納するIPアドレス使用情報格納手段と、

前記利用者の嗜好に応じたコンテンツを、この利用者に関連付けて格納するコンテンツ格納手段と、

当該IPアドレス使用している利用者の端末に、前記利用者の嗜好に応じたコンテンツを前記コンテンツ格納手段から取り出して表示するコンテンツ表示手段と

を有することを特徴とするインターネット接続システム。

【請求項13】 インターネット接続サービス業者が、当該インターネット接続サービスの利用者のWebサイト接続先ログを取得し、このWebサイト接続先ログに基いて利用者の嗜好情報を生成して提供することを特徴とするインターネット利用者の嗜好情報提供方法。

【請求項 1 4】 インターネット接続サービス業者から、当該インターネット接続サービスの利用者の Web サイト接続先情報を受け取り、前記利用者の嗜好情報を生成し、前記利用者に対してその嗜好情報に応じたデジタルコンテンツを配信することを特徴とするインターネットを利用したデジタルコンテンツの配信方法。

【発明の詳細な説明】

【0 0 0 1】

【発明の属する技術分野】

この発明は、インターネット接続時に、利用者の接続ログに基いて、利用者の嗜好に関する情報を収集することができるインターネット接続システム、インターネット利用者の嗜好情報提供方法、及びインターネットを利用したデジタルコンテンツの配信方法に関する。

【0 0 0 2】

【従来の技術】

近年、インターネット利用者の急激な増大に伴い、インターネットを利用したオンラインでの各種情報提供手法が脚光を浴びている。このような情報提供手法においては、各利用者に対し、その嗜好にあったコンテンツを迅速に提供することが求められる。

【0 0 0 3】

このため、例えば、利用者が各種情報提供サービスに入会登録する際に、当該利用者の属性や嗜好についてのアンケートに答えておいてもらい、その情報を元に各利用者の嗜好に合う広告や情報の提供を行なう方法等が採られている。

【0 0 0 4】

【発明が解決しようとする課題】

ところで、このような手法で得られる嗜好情報は「静的な」情報であり、一度収集された後は更新されないか、更新されとしても利用者の自発性に任されるため、その頻度が非常に低いということがある。

【0 0 0 5】

しかしながら、本来、利用者の嗜好は日常生活の中で絶えず変化する興味や関

心に左右される動的な情報である。このため、一般に、上述した方法で取得した嗜好情報は、アンケートへの回答から時間が経過するについで陳腐化が進み、結果として、その利用者のニーズと乖離したコンテンツ提供となってしまうおそれがある。

【0006】

この発明は、このような事情に鑑みてなされたものであり、インターネット接続プロバイダに設置され、利用者の手を煩わせることなく、かつ利用者のアップデートされた嗜好情報を得ることができるインターネット接続システム等を提供することを目的とするものである。

【0007】

【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するため、この発明の第1の主要な観点によれば、利用者の端末をネットワークに接続するインターネット接続システムであって、前記IPアドレスの使用情報を、このIPアドレスの利用者に関連付けて格納するIPアドレス使用情報格納手段と、前記利用者がWebサイトに接続する際に、接続に係るIPアドレスによる当該Webサイトへの接続ログを記録する接続ログ記録手段と、接続ログ記録手段によって記録された情報ログに含まれるIPアドレスと、前記IPアドレス使用情報とを参照することで、接続先WebサイトとこのWebサイトに接続した前記利用者の情報とを関連付けて出力する接続先情報出力手段とを有することを特徴とするインターネット接続システムが提供される。

【0008】

このような構成によれば、利用者によるIPアドレスの使用情報と、IPアドレスによるWebサイト（URL）への接続ログ情報とに基いて、IPアドレスのマッチングを行なうことで、利用者の接続先Webサイト情報を導き出すことができる。

【0009】

1の実施形態によれば、このインターネット接続システムは、利用者による前記接続先情報の出力の許可／不許可を識別するための情報を格納する情報出力許可／不許可情報格納手段をさらに有し、前記接続先情報出力手段は、前記利用者

が接続先情報の出力を許可していることに基づいて当該接続先情報を出力するものである。この場合、接続先情報の出力を許可している利用者の集合情報を、前記接続先情報と共に格納する集合情報格納手段をさらに有することが好ましい。

【 0 0 1 0 】

このような構成によれば、利用者の意思に基いて、利用者の接続先情報を外部に出力することができる。また、情報出力を許可している利用者の集合情報を得ることができ、情報提供母体を確実に把握することが可能になる。

【 0 0 1 1 】

1の実施形態によれば、このインターネット接続システムは、利用者の認証を行う認証手段を有し、前記IPアドレス使用情報格納手段は、この認証手段によって取得された利用者情報とIPアドレス使用情報とを関連付けて格納するものである。

【 0 0 1 2 】

このような構成によれば、利用者の接続時の認証動作に基いて利用者を特定し、この利用者によるIPアドレス使用情報を得ることができる。

【 0 0 1 3 】

1の実施形態によれば、このインターネット接続システムは、各種Webサイトの情報をカテゴライズして格納するカテゴライズ情報格納手段と、前記接続先情報出力手段から受け取った前記接続先情報と、前記カテゴライズ情報とを参照することで、接続先WebサイトのカテゴリとこのWebサイトに接続した前記利用者の情報とを関連付けて出力する利用カテゴリー情報出力手段とを有する。

【 0 0 1 4 】

ここで、このシステムは、当該利用者の前記利用カテゴリー情報を蓄積することで、当該利用者の嗜好を分析する嗜好分析手段と、当該嗜好情報を前記利用者に関連付けて出力する嗜好情報出力手段とを有することが好ましい。

【 0 0 1 5 】

また、このインターネット接続システムは、各種コンテンツを前記カテゴリーに関連付けて格納するコンテンツ格納手段と、前記利用者の嗜好情報に基いて、前記コンテンツ格納手段からコンテンツを取り出して前記利用者に配信するコン

テンツ配信手段とを有することが望ましい。

【 0 0 1 6 】

このような構成によれば、動的に変化する利用者の嗜好に合ったコンテンツを的確に配信していくことが可能になる。このことで、例えば、デジタルコンテンツを利用した効果的な広告を行うことが可能になる。

【 0 0 1 7 】

また、この発明の第 2 の主要な観点によれば、利用者の情報と、当該利用者の接続先 Web サイト情報とを関連付けて格納する接続先情報格納手段と、各種 Web サイトの情報をカテゴライズして格納するカテゴライズ情報格納手段と、前記接続先情報と、前記カテゴライズ情報とを参照することで、接続先 Web サイトのカテゴリとこの Web サイトに接続した前記利用者の情報とを関連付けて出力する利用カテゴリー情報出力手段とを有することを特徴とするインターネット利用者情報提供システムが提供される。

【 0 0 1 8 】

この場合、当該利用者の前記利用カテゴリー情報を集積することで、当該利用者の嗜好を分析する嗜好分析手段と、当該嗜好情報を前記利用者に関連付けて出力する嗜好情報出力手段とを有することが好ましい。

【 0 0 1 9 】

また、この情報提供システムは、各種コンテンツを前記カテゴリーに関連付けて格納するコンテンツ格納手段と、前記利用者の嗜好情報に基いて、前記コンテンツ格納手段からコンテンツを取り出して前記利用者に配信するコンテンツ配信手段とを有することが望ましい。

【 0 0 2 0 】

このようなシステムによれば、外部から受け取った利用者毎の Web サイトの接続先情報に基いて、利用者の嗜好を分析でき、動的に変化する利用者の嗜好に合致したデジタルコンテンツを的確に配信していくことが可能になる。

【 0 0 2 1 】

また、この発明の第 3 の観点によれば、利用者の端末をネットワークに接続するインターネット接続システムであって、 IP アドレスの使用情報を、この IP

アドレスの利用者に関連付けて格納する I P アドレス使用情報格納手段と、前記利用者の嗜好に応じたコンテンツを、この利用者に関連付けて格納するコンテンツ格納手段と、当該 I P アドレス使用している利用者の端末に、前記利用者の嗜好に応じたコンテンツを前記コンテンツ格納手段から取り出して表示するコンテンツ表示手段とを有するインターネット接続システムが提供される。

【 0 0 2 2 】

このような構成によれば、前記利用者がインターネットに接続している最中に、この利用者の嗜好に応じたデジタルコンテンツを利用者の端末に表示させることができる。

【 0 0 2 3 】

また、この発明の第 3 の観点によれば、インターネット接続サービス業者が、当該インターネット接続サービスの利用者の W e b サイト接続先ログを取得し、この W e b サイト接続先ログに基づいて利用者の嗜好情報を生成して提供することを特徴とするインターネット利用者の嗜好情報提供方法が提供される。

【 0 0 2 4 】

さらに、この発明の第 4 の観点によれば、インターネット接続サービス業者から、当該インターネット接続サービスの利用者の W e b サイト接続先情報を受け取り、前記利用者の嗜好情報を生成し、前記利用者に対してその嗜好情報に応じたデジタルコンテンツを配信することを特徴とするインターネットを利用したデジタルコンテンツの配信方法が提供される。

【 0 0 2 5 】

なお、この発明の他の特徴と顕著な効果は、次の発明の実施の形態の項と添付した図面とによって、より明確に理解することができる。

【 0 0 2 6 】

【発明の実施の形態】

以下、本発明の実施の形態を図面に基づき説明する。

【 0 0 2 7 】

図 1 は本発明の一実施形態に係るインターネット接続システム 1 を示す機能ブロック図、図 2 はこのインターネット接続システムに接続されたインターネット

利用者情報提供システム 2 を示す機能ブロック図である。なお、各図中、S 1 ～ S 1 8 で示すのは、各システム 1、2 の処理手順を説明するためのステップ参照番号である。

【 0 0 2 8 】

まず、図 1 に示すように、前記インターネット接続システム 1 は、ダイヤルアップ接続してきた利用者 4（利用者端末）に IP アドレスを割り振ってインターネット 5 に接続するターミナルサーバ 6 と、前記ターミナルサーバ 6 に接続した利用者 4 の認証を行なうと共に IP アドレスの使用情報を記録する認証サーバ 7 と、前記利用者 4 のインターネットへの接続が必ず経由するように設定され、接続に係る IP アドレスの URL 接続先ログを取得する代理サーバ 8 と、IP アドレスの使用情報と前記 URL 接続先ログとから各利用者 4 の接続先情報を演算しアップデート情報として外部（前記利用者情報提供システム 2）に出力するアップデートサーバ 9 とを有する。

【 0 0 2 9 】

以下、このシステム 1 の構成及び機能を、その動作に基いて説明する。

【 0 0 3 0 】

まず、前記ターミナルサーバ 6 は、通信モデムが接続されてなる図示しない複数のポートを有しており、例えば、公衆回線 1 0 を通して利用者 4 と接続されるようになっている。そして、このターミナルサーバ 6 は、利用者 4 から認証情報としてのユーザ ID 及びパスワードを受け取ったならば、前記認証サーバ 7 に対して認証指令を発する（ステップ S 1）。

【 0 0 3 1 】

この認証サーバ 7 には、例えば、前記ユーザ ID 及びパスワードを含む利用者情報を格納する利用者情報格納部 1 1 が接続されている。そして、この認証サーバ 7 は、前記利用者 4 が入力した認証情報とを、前記利用者情報格納部 1 1 に格納された利用者情報とを照合することで、利用者 4 の認証を行なう。そして、この認証サーバ 7 は、前記ターミナルサーバ 6 に対して肯定若しくは否定の認証結果を返す（ステップ S 2）。

【 0 0 3 2 】

ターミナルサーバ6は、肯定の認証結果を受け取ったことに基いて、利用者4のインターネット接続を許可し、利用者4が接続されているポートに個有のIPアドレスを割り振る。このことで、利用者4は、ターミナルサーバ6との接続を切断するまで、このIPアドレスを使用して各種URL（Webサイト）に接続して情報をダウンロード／アップロードすることができる。

【0033】

ここで、ターミナルサーバ6にはルーティングサーバ12（ルータ）が接続されており、このルーティングサーバ12は、ターミナルサーバ6を通したインターネットへの接続を、すべて前記代理サーバ8を経由させるようにルーティングするようになっている。例えば、利用者4が、図に13aで示すURL1の閲覧リクエストを発したとすると、前記代理サーバ8を経由して当該URL1へ接続されることになる（ステップS3）。このことで、代理サーバ8は、どの時刻に、どのIPアドレスで、どのURLへの接続リクエストがあったかの接続先ログを取得し、IPアドレス－URL接続先ログ格納部14に格納する（ステップS4）。そして、利用者4がURL（URL2、URL3等）への接続リクエストを発する毎に、前記代理サーバ8は、対応する接続先ログを記録していく。

【0034】

ついで、利用者4がターミナルサーバ6との接続を切断した場合には、前記認証サーバ7は、このIPアドレスの使用情報、すなわち、当該IPアドレスでの接続開始時間及び接続終了時間を、前記利用者の認証情報（ユーザID）に関連付けた状態で図に15で示す利用者IPアドレス使用情報格納部に格納する（ステップS5）。そして、このことに基いて、前記認証サーバ7は、前記アップデートサーバ9に対してアップデート指令を発する（ステップS6）。

【0035】

アップデートサーバ9は、このアップデート指令に基いて、前記代理サーバ8を通して、前記IPアドレス・URL接続先ログ格納部14から、当該IPアドレス使用時間中におけるこのIPアドレスでのURL接続先ログを取り出す（ステップS7）。

【0036】

そして、このアップデートサーバ9は、前記利用者4によるIPアドレス使用情報と、このIPアドレスでのURL接続先ログとに基いて、当該URLに接続要求を出した利用者（ユーザID）を特定する。そして、この接続先URLを利用者情報に関連付けた状態で、利用者－URL接続先情報格納部16に出力・格納する。このことで、この利用者－URL接続先情報格納部16には、利用者4毎のURL接続先情報が蓄積されていくことになる（ステップS8）。

【0037】

この利用者4毎のURL接続先情報は、当該利用者の嗜好を分析するための元データとなるものである。この情報は、アップデートサーバ9によって前記インターネット利用者情報システム2に送られ（ステップS9）、後で説明するように、この利用者情報提供システム2において利用者の嗜好情報に加工されるようになっている。

【0038】

このインターネット利用者情報システム2への当該URL接続先情報の出力は、利用者4の意思に基いて行なわれるようになっていることが好ましい。このため、前記利用者情報格納部11には、利用者に関する情報出力許可（不許可）情報が格納され、前記認証サーバ7は情報出力許可が与えられている場合にのみ、前記アップデートサーバ9にアップデート指令（ステップS6）を発するように構成されている。

【0039】

この情報出力許可情報は、例えば、利用者4がインターネット接続サービスの申し込みを行なう際に利用者4の意思に基いて生成され、かつ利用者4の意思に基いて適宜更新できるようになっていることが好ましい。また、情報の出力を許可している利用者4の場合は、前記情報の母集団であり、この母集団がどのようなものであるかを知ることは、利用者の嗜好情報を分析する上で非常に重要である。

【0040】

そこで、前記アップデートサーバ9は、この情報を、利用者集合情報格納部17に格納して保持し、適宜アップデートし、必要に応じて前記インターネット利

用者情報提供システム 2 に出力するようになっている。

【 0 0 4 1 】

次に、このインターネット利用者情報提供システム 2 を、図 2 を参照して説明する。

【 0 0 4 2 】

前記アップデートサーバ 9 から送信された利用者－URL 接続先情報は、図 2 に 2 0 で示す利用カテゴリー情報出力部により取得される（ステップ S 9）。この利用カテゴリー情報出力部 2 0 には、各種 URL をカテゴライズしてなるカテゴライズ情報、すなわち、URL を予め定められた所定のジャンルに分類してなるカテゴライズ情報格納部 2 1 が接続されている。前記利用カテゴリー情報出力部 2 0 は、受け取った利用者－URL 接続先情報に含まれる接続先 URL と、このカテゴライズ情報とを参照（ステップ S 1 0）することで、当該利用者 4 の接続した URL がどのカテゴリーに属するかを示す利用カテゴリー情報を生成し、利用カテゴリー情報格納部 2 2 に蓄積する（ステップ S 1 1）。このとき、例えば、接続先カテゴリー別に例えば 1 回の接続について 1 ポイント等の形で順次加算されていくようになっていることが好ましい。

【 0 0 4 3 】

ついで、このシステム 2 では、図に 2 3 で示す嗜好分析部が、前記利用カテゴリー情報格納部から各利用者の利用カテゴリー情報を取り出して（ステップ S 1 2）、例えば統計処理によって当該利用者の嗜好を分析する。この分析は、例えば、所定の期間中、各利用者が関心を持ったカテゴリーのランキングを求める等の形で実行され、その分析結果は嗜好情報出力部 2 5 によって利用者嗜好情報格納部 2 4 に出力される（ステップ S 1 3、S 1 4）。

【 0 0 4 4 】

この利用者嗜好情報は、様々な用途に使用することが可能であるが、この実施形態では、文書ファイル、音声ファイル、画像ファイル等のマルチメディアコンテンツの配信に利用する。すなわち、このシステム 2 は、コンテンツ配信部 2 7 を有し、このコンテンツ配信部 2 7 には、各種コンテンツを上記各カテゴリー毎に分類した状態で格納するコンテンツ格納部 2 8 が接続されている。

【 0 0 4 5 】

そして、コンテンツ配信部 2 7 は、前記利用者嗜好情報格納部 2 4 から、特定の利用者の嗜好情報を取得し（ステップ S 1 5）、例えば、その利用者 4 が最も関心を持っているカテゴリーに属するコンテンツを取り出して、前記利用者 4 に配信するように構成されている（ステップ S 1 6、ステップ S 1 7）。

【 0 0 4 6 】

ここで、このコンテンツ配信部 2 7 によるコンテンツ配信は、前記アップデートサーバ 9 から情報を受け取る毎に実行しても良いし、利用者 4 が前記インターネット接続システム 1 を有するインターネットサービスプロバイダの URL に接続した際に表示するようにしても良い。

【 0 0 4 7 】

また、コンテンツ格納部 2 8 に格納された各種コンテンツは、カテゴリーだけでなく、利用者の好ましい性別、年齢層、職業にも関連付けられていることが好ましい。このようにすることにより、前記コンテンツ配信部 2 7 は、嗜好情報だけでなく前記利用者情報格納部 1 1 に格納されている利用者属性に基いても、配信すべきコンテンツを選択することができる。

【 0 0 4 8 】

このような構成によれば、以下の効果を得ることができる。

【 0 0 4 9 】

第 1 に、上記実施形態によれば、サービス申込時に入力したままの静的な嗜好情報に依存するのではなく、利用者 4 の最新の行動に基いて、動的な嗜好情報を生成することができるので、常に利用者 4 のニーズに合致したコンテンツ配信等が行なえる。しかも、この場合、利用者は自ら煩雑な嗜好情報更新の手続きを行なうことなく、無意識のうちに自己の嗜好情報を最新のものに更新することができる効果がある。

【 0 0 5 0 】

第 2 に、上記実施形態によれば、代理サーバ 8 を設け、この代理サーバ 8 を経由させることで IP アドレス毎の URL 接続先ログを取得し、この IP アドレスを手がかりに利用者 4 の接続先 URL を判別するようにしている。このように特

定のサーバ（サイト）を経由させることで、簡単な構成で、かつ利用者の嗜好を確実に取得できる効果がある。

【 0 0 5 1 】

なお、この発明は上記一実施形態に限定されるものではなく、発明の要旨を変更しない範囲で種々変形して実施可能である。

【 0 0 5 2 】

例えば、上記一実施形態では、上記利用者－ＩＰアドレス使用情報 1 5 に格納された情報は、ＩＰアドレスの使用時間の情報を含むものであったが、これに限定されるものではない。例えば、現在インターネットに接続中の利用者にリアルタイムで、当該利用者の嗜好に応じたデジタルコンテンツを配信する場合には、このような使用時間の情報は不要である。このような場合におけるシステム構成を図 3 に示す。

【 0 0 5 3 】

図中、1 5' で示す利用者－ＩＰアドレス使用情報は、図 4 に示すように、ＩＰアドレスと、そのＩＰアドレスを使用中の利用者のＩＤを含むものである。この使用情報は、前記認証サーバ 7 が、利用者 4 の認証を行なった際に、予め用意されている複数のＩＰアドレスの内の 1 つに対して当該利用者ＩＤを割り付けることで生成される。そして、当該利用者の接続が終了したならば、前記利用者ＩＤが消去され、前記ＩＰアドレスとの関連付けが解除されるようになっている。

【 0 0 5 4 】

前記アップデートサーバ 9 は、このＩＰアドレス使用情報格納部 1 5' の利用者ＩＤに基づいて、前記利用者嗜好情報格納部 2 4 から利用者の嗜好情報を取り出し、これに応じたコンテンツを前記コンテンツ格納部 2 8 から取り出して、前記利用者 4 にリアルタイムに配信する。

【 0 0 5 5 】

具体的には、例えば、ブラウザのフレーム機能を利用し、複数のフレームの内の 1 つが前記アップデートサーバ 9 に接続されるようにし、このフレーム内に前記デジタルコンテンツを広告やリンク等の形で表示するようにすれば良い。

【 0 0 5 6 】

このような構成によれば、利用者の嗜好に応じたコンテンツを当該利用者 4 がインターネットに接続している最中にリアルタイムで表示することができるから、広告効果を高めることが可能になる。

【 0 0 5 7 】

また、上記一実施形態では、前記利用者－URL 接続先情報格納部 1 6 に格納された情報は、前記インターネット利用者情報提供システム 2 に出力されるようになっていたが、利用者の要求に応じて、当該利用者の過去の接続履歴情報として各 URL 接続先へのリンク付きで出力するようになっていても良い。このような構成によれば、1 人の利用者が、複数の異なる端末若しくはブラウザを使用するような環境下においても、当該利用者に対して統一的な接続履歴情報を提示することが可能になる。

【 0 0 5 8 】

また、例えば、上記利用者－URL 接続情報を、直接広告業者等に提供するようにしても良い。この場合、前記インターネット利用者情報提供システム 2 が、この広告業者に設置されていれば、インターネット利用者に対してメール等の手段によって、その利用者の個別ニーズに合った広告を行なうことができる。

【 0 0 5 9 】

また、上記一実施形態では、ダイヤルアップ接続の場合を例にとって説明したが、常時接続等の場合であっても適用可能である。

【 0 0 6 0 】

さらに、上記一実施形態では、前記認証サーバからのアップデート指令に基づいて、前記利用者－URL 接続先情報の出力が逐次なされ、利用者の嗜好情報の分析等がなされるようになっていたが、これに限定されるものではない。例えば、夜間バッチ処理などにより一括で処理されるようになっていても良い。

【 0 0 6 1 】

また、前記一実施形態では、上記インターネット利用者情報システム 2 への URL 接続先情報の出力は、利用者の意思（情報出力許可／不許可情報）に基づいてなされるようになっていたが、これに限定されるものではない。所定の条件の下、全ての利用者についての URL 接続先情報が出力されるようになっていても良

い。また、母集団情報としては、情報の出力を許可している利用者の集合情報だけでなく、情報の出力を許可していない者を含む全ての利用者の集合情報を出力するようにしても良い。

【 0 0 6 2 】

【発明の効果】

以上説明したように、この発明によれば、インターネット接続プロバイダに設置され、利用者の手を煩わせることなく、かつ利用者のアップデートされた嗜好情報を得ることができるインターネット接続システム等を提供することができる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

この発明の一実施形態に係るインターネット接続システムを示す機能ブロック図。

【図 2】

同じく、インターネット利用者情報提供システムを示す機能ブロック図。

【図 3】

この発明の他の実施形態に係るインターネット接続システムを示す機能ブロック図。

【図 4】

同じく、利用者－IPアドレス使用情報を示す図。

【符号の説明】

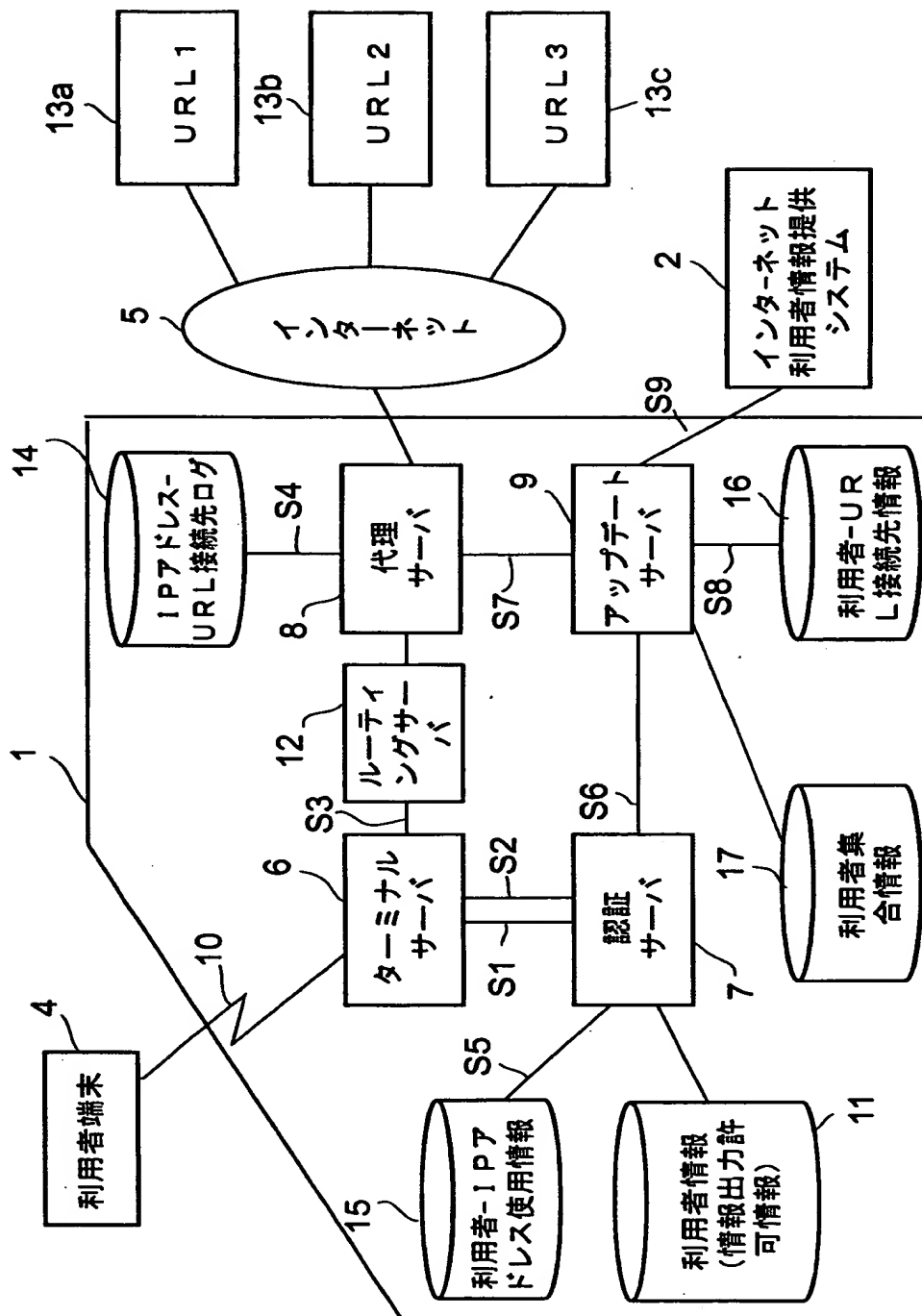
- 1 … インターネット接続システム
- 2 … インターネット利用者情報提供システム
- 4 … 利用者
- 5 … インターネット
- 6 … ターミナルサーバ
- 7 … 認証サーバ
- 8 … 代理サーバ
- 9 … アップデートサーバ

- 1 0 … 公衆回線
- 1 1 … 利用者情報格納部
- 1 4 … 接続先ログ格納部
- 1 5 … 利用者－ＩＰアドレス使用情報格納部
- 1 6 … 利用者－ＵＲＬ接続先情報格納部
- 1 7 … 利用者集合情報格納部
- 2 0 … 利用カテゴリー情報出力部
- 2 1 … カテゴリーズ情報格納部
- 2 2 … 利用カテゴリー情報格納部
- 2 3 … 嗜好分析部
- 2 4 … 利用者嗜好情報格納部
- 2 5 … 嗜好情報出力部
- 2 7 … コンテンツ配信部
- 2 8 … コンテンツ格納部

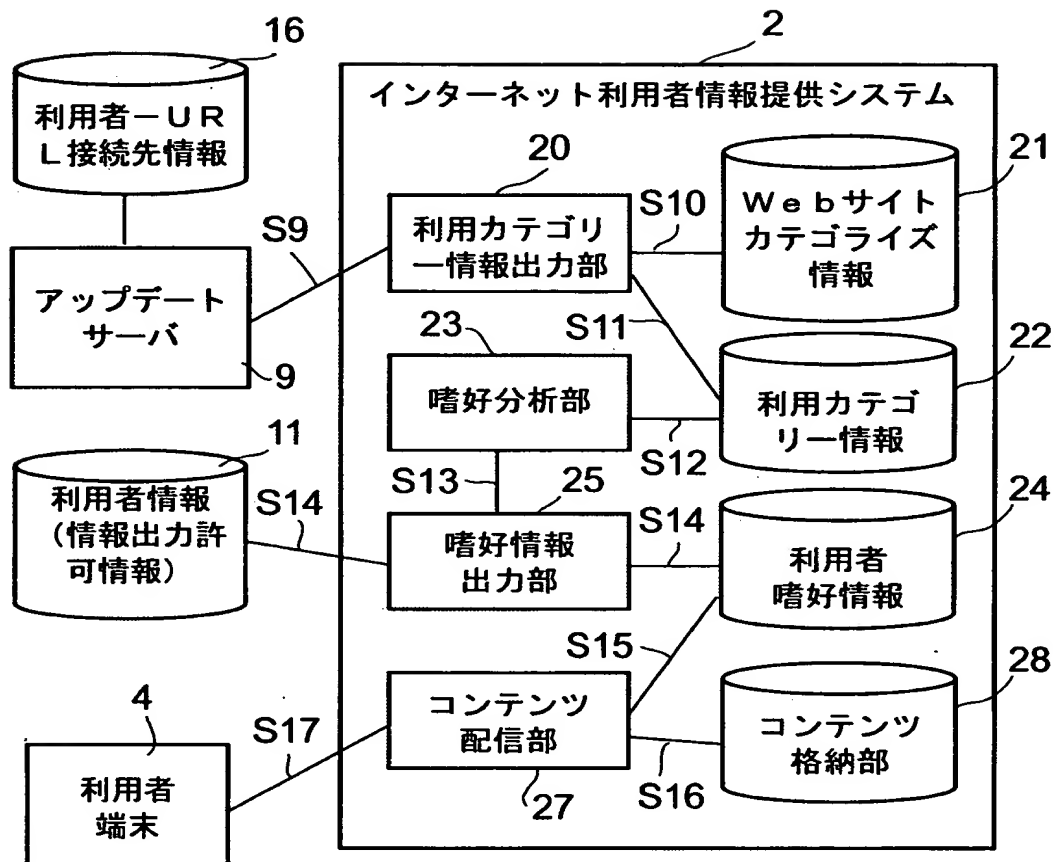
【書類名】

凶面

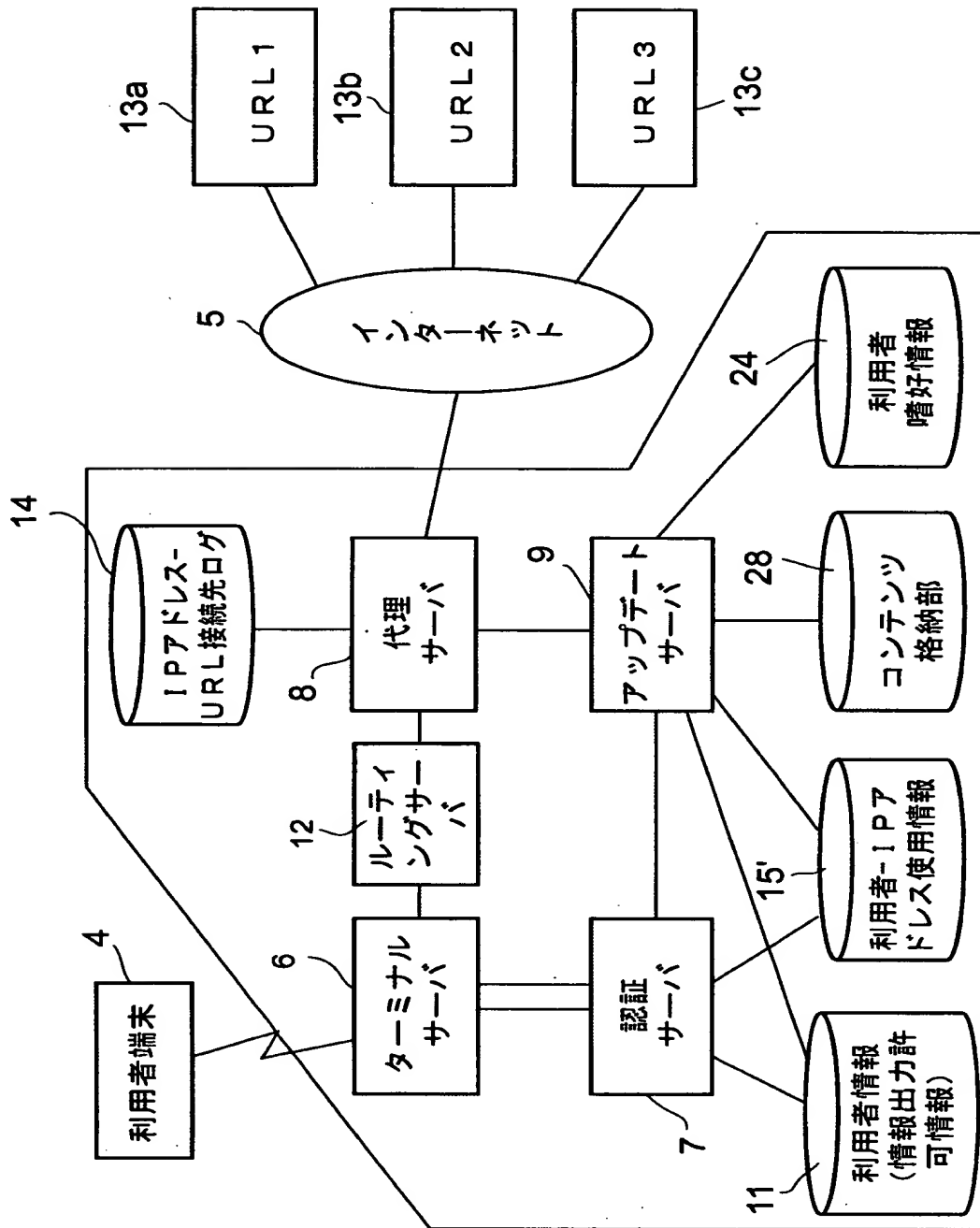
【図 1】



【図2】



【図3】



【図 4】

15'

I P	利用者 I D
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.

【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 利用者の手を煩わせることなく、かつ利用者のアップデートされた嗜好情報を得る。

【解決手段】 利用者（４）の端末をネットワークに接続するインターネット接続システムであって、前記ＩＰアドレスの使用情報を、このＩＰアドレスの利用者に関連付けて格納するＩＰアドレス使用情報格納手段（７、１５）と、前記利用者がＷｅｂサイトに接続する際に、接続に係るＩＰアドレスによる当該Ｗｅｂサイトへの接続ログを記録する接続ログ記録手段（８、１４）と、接続ログ記録手段によって記録されたログ情報に含まれるＩＰアドレスと、前記ＩＰアドレス使用情報とを参照することで、接続先ＷｅｂサイトとこのＷｅｂサイトに接続した前記利用者の情報とを関連付けて出力する接続先情報出力手段（９）とを有する。

【選択図】 図１

認 定 ・ 付 加 情 報

特許出願の番号	特願 2 0 0 0 - 0 9 9 3 6 2
受付番号	5 0 0 0 0 4 1 1 1 7 3
書類名	特許願
担当官	第七担当上席 0 0 9 6
作成日	平成 1 2 年 4 月 1 0 日

< 認定情報・付加情報 >

【提出日】	平成12年 3月31日
-------	-------------

【書類名】 出願人名義変更届

【整理番号】 00A036

【提出日】 平成12年 7月19日

【あて先】 特許庁長官 殿

【事件の表示】

 【出願番号】 特願2000- 99362

【承継人】

 【住所又は居所】 東京都渋谷区神泉町 1 0 番 1 0 号

 【氏名又は名称】 株式会社フリービット・ドットコム

【承継人代理人】

 【識別番号】 100104215

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 大森 純一

【手数料の表示】

 【予納台帳番号】 069085

 【納付金額】 4,200円

【ブルーフの要否】 要

認定・付加情報

特許出願の番号	特願2000-099362
受付番号	50000911704
書類名	出願人名義変更届
担当官	塩崎 博子 1606
作成日	平成12年 9月 7日

<認定情報・付加情報>

【承継人】

【識別番号】	500260296
【住所又は居所】	東京都渋谷区神泉町10番10号 神泉ビル
【氏名又は名称】	株式会社フリービット・ドットコム
【承継人代理人】	申請人
【識別番号】	100104215
【住所又は居所】	東京都港区南青山2丁目13番7号 マトリス4 F 大森・矢口国際特許事務所
【氏名又は名称】	大森 純一

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [500130209]

1. 変更年月日 2000年 3月23日
[変更理由] 新規登録
住 所 東京都港区赤坂二丁目21番1号
氏 名 株式会社フリービット・ドットコム

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [500260296]

1. 変更年月日 2000年 6月 5日

[変更理由] 新規登録

住 所 東京都渋谷区神泉町10番10号 神泉ビル

氏 名 株式会社フリービット・ドットコム